

平塚湘南 RC 会長「挨拶文」

本日、ここに平塚湘南ロータリークラブ十五周年記念例会・友好クラブ締結式開催に際しまして、大変ご多忙にもかかわらず、大藏平塚市長をはじめ御来賓の方々、そして遠く交流クラブの高山中央ロータリークラブの皆様のご来臨^{らいりん}をいただきました事を、クラブを代表致しまして、心からお礼申し上げます。

又この様な晴れがましい壇上で、会長としてご挨拶申し上げます事は、まことに身に余る光栄と存じます。

さて我がクラブは一九九一年一月十一日平塚北ロータリークラブをスポンサーとして特別代表 中村進氏、拡大補佐 福田和之氏によって創立、35名のチャーターメンバーで、平塚で5番目のクラブとして設立されました。

以来先輩メンバーの献身的な努力により、その奉仕活動は国際ロータリーから「意義ある業績賞」の受賞を始め、地区より会員増強を2回、米山功労を10回表彰を受け、エイズ予防財団、ポリオプラス財団、平塚市社会福祉基金、また地域の数々の団体から感謝状をいただくなど、地域への奉仕活動は多くの地域社会から高く評価され、そして今なお継続中でありま

す。本席に今日^{こんにち}の平塚湘南ロータリークラブを築いて頂いた諸先輩の皆様がお揃いでないことが誠に残念

ではございますが、十四名のチャーターメンバーはクラブの重鎮^{じゅうちん}として、引き続きご活躍中でありま

す。この十五年間のクラブの歴史、活動状況でございますが、創立当時より、青少年問題、また平塚市内にある県立盲学校、県立ろう学校と連携をとり障害者問題に取り組んでまいりました。薬物防止については地区内において早くから取り組み、街頭キャンペーン、また市内中学校において直接子供達に薬物の怖さを知らせるなどの啓蒙活動を行いました。

障害者については健常者との垣根を低くし、共に生活できる事を提唱し、平塚市の福祉フェスティバルでのイベントを通じて活動しております。その成果が実り、先程お話した「意義ある業績賞」をいただく事ができました。

また湘南の海の美しさを次世代に残そうと海岸清掃を始め、今では海岸が汚れる問題として河川敷まで広がって活動しております。

近年では会員の職業を通じて地域に貢献できないかと考え「市民のための何でも相談会」を開催し、年々相談者の数も増えており、大変うれしい限りでございます。

そして杉崎会長年度より七年間の交流の末、今日^{きょう}こうして友好締結を結ぶ事が出来ましたのも、両クラブの歴代会長のご尽力の賜物と深く感謝いたしております。七年間の交流を通じ友情が芽生え、受け継がれ、育まれてきました。高山の文化にふれる良き機会を頂いていると常々感謝いたしております。

本日、この席に漆山会長始め多数の会員とご家族の方々のご参加をいただきました。大変ありがたい事でございます。

今日^{こんにち}、水と安全はただ。かつて私たちの周りにはそんな言葉がありました。しかし、この一年の出来事は、私たちの住んでいる社会がもはや別の世界になったことを思い知らされます。

耐震強度の偽装やライブドア問題、奥田・日本経団連会長は記者会見で「日本全体がカネ目当ての国になりつつある」と懸念を示しましたが、私には日本列島を覆い始めた「競争」の大波が人びとのこころのありさまを少しずつ変え始めているようにみえます。

私はここ数年、ロータリー活動を通じ地域と係わってきましたが、現在の家庭や地域社会は、私が子どもだったころと明らかに違います。何が違うのでしょうか。どの家庭もやたらに忙しい事です。背景はさまざまですが、共働きや残業など、「社会の生産活動」に携わる時間がここ数

年ですさまじく増えているように思います。

無駄なもの、利益に寄与しないものを競争原理によって省いていく。その過程で、同時にそぎ落とされる大事なものを私たちは見落としていないでしょうか。このような時だからこそ、ロータリー精神の原点に戻る一〇一年のスタートと認識を深め、活動していきたいと思います。

見識豊かな皆様方のお力添えを御願いしまして、私の挨拶とさせていただきます。